

一般社団法人日本老年歯科医学会 2017年度第8回理事会議事録

日 時：2017年12月14日（木）15：00～17：30

場 所：日本歯科大学生命歯学部 2階 第1会議室

出 席：櫻井 薫 理事長

羽村 章、下山和弘 両副理事長

佐藤裕二、水口俊介、深山治久、那須郁夫、福島正義、菊谷 武、菅 武雄、戸原 玄、小野高裕、河相安彦、片倉 朗、眞木吉信、石黒幸枝、松尾浩一郎、岩佐康行、平野浩彦、服部佳功、米山武義、山崎 裕、阪口英夫 各理事

森戸光彦、山根源之 各監事

上田貴之、金澤 学、杉山哲也、伊藤加代子、佐川敬一朗、飯田良平、伊藤誠康、

潮田高志、大神浩一郎、中川量晴、高橋一也、梅本丈二、小原由紀、大井 孝、森田一彦、

大野友久、児玉実穂 各幹事

欠 席：市川哲雄、小正 裕、渡邊 裕、高井良招、角 保徳、津賀一弘 各理事

北川 昇、矢儀一智、堀 一浩、玄 景華、小林國彦 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

櫻井理事長より、参集への御礼と日ごろの活動への御礼と挨拶があった。

IV. 議長選出

定款に則り、櫻井理事長が選出された。

V. 確認事項

1. 定足数の確認

佐藤理事（総務担当）より23名の出席がある旨報告があり、定足数〔定款第32条、理事現在数（29名）の2分の1以上の出席〕を満たしている事が確認された。

2. 配付資料の確認

櫻井理事長より配布資料の確認がなされた。

3. 2017年度第3回理事会議事録

櫻井理事長より資料を元に説明があり、確認された。

4. 2017年度第4回理事会議事録

櫻井理事長より資料を元に説明があり、確認された。

5. 2017年度第5回理事会議事録

櫻井理事長より資料を元に説明があり、確認された。

6. 2017年度第6回理事会議事録

櫻井理事長より資料を元に説明があり、確認された。

7. 2017年度第7回理事会議事録

櫻井理事長より資料を元に説明があり、確認された。

VI. 協議事項

1. 新規入会者の承認について

櫻井理事長より資料を元に説明があり、案の通り新規入会者が承認された。

2. 2017年度専門医認定者について

櫻井理事長より資料を元に説明があり、案の通り専門医認定者が承認された。

3. 研究助成事業の設立について

櫻井理事長より資料を元に若手研究助成について説明があり、常任理事会での協議結果について補足説明があり、規定等の整備を行った上で実施することが承認された。係る規定等の整備については、常任理事会に一任することが合わせて承認された。水口理事より、課題研究助成について資料を元に説明があり、常任理事会での協議結果について補足説明があり、規定等の整備を行った上で実施することが承認された。係る規定等の整備については、常任理事会に一任することが合わせて承認された。

4. European College of Gerodontology (ECG)との交流協定について
小野理事（国際渉外担当）より資料を元に説明があり、常任理事会での検討事項について補足説明があり、協定書について交流目的を冒頭に配置する等の修正した上で、交流協定を締結することが承認された。協定書の修正については、常任理事会に一任することが合わせて承認された。
5. 学術大会プログラム集のオンライン公開（フリーアクセス）について
佐藤理事（第 29 回学術大会大会長）より資料を元に学術大会プログラム集のオンライン公開（フリーアクセス）について説明があり、学術大会のプログラム集のオンライン化が承認された。
6. 学術大会発表演題における倫理審査のチェックについて
山崎理事（倫理審査担当）より、学術大会の発表演題における倫理審査のチェックについて説明があり、今後の学術大会および学会誌における倫理審査の表記方法の検討、会員に対する啓蒙活動については倫理委員会に対応を依頼する旨が承認された。
7. 倫理審査委員会規程および臨床・疫学研究に係る業務に関する細則の改正について
山崎理事（倫理審査担当）より、倫理審査委員会規程および臨床・疫学研究に係る業務に関する細則の改正について資料を元に説明があり、案の通り承認された。
8. 摂食機能療法専門歯科医師の本施行時の研修要件および更新要件について
戸原理事（摂食嚥下リハビリテーション担当）より資料を元に摂食機能療法専門歯科医師の本施行時の研修要件および更新要件について説明があり、片倉理事より医療従事者向けの教育活動には学生教育も入るのかとの質問があり、戸原理事より学外向けの講習会を想定している旨の回答があった。佐藤理事より学術大会時の発表は業績となるような形にするのが望ましい旨、眞木理事より学術大会での抄録登録とディスカッションを行った上で業績にするのが望ましい旨、羽村副理事長より教育活動の対象となる医療従事者を例示するのが望ましい旨の意見がそれぞれあり、修正については常任理事会に一任することが承認された。
9. 摂食機能療法専門歯科医師制度規則および施行細則の改正について
戸原理事（摂食嚥下リハビリテーション担当）より資料を元に摂食機能療法専門歯科医師制度規則および施行細則の改正について説明があり、前項の修正に合わせて修正することで承認された。尚、修正については常任理事会に一任することが合わせて承認された。

VII. 報告事項

1. 会務報告

櫻井理事長より、名誉会員の参集への御礼、渡邊郁馬名誉会員から本会への寄付に対する御礼、各理事の活発な活動への御礼があった。また、中央社会保険医療協議会総会の平成 30 年度診療報酬改定に係る資料に口腔機能低下症について掲載された旨、日本歯科医学会の在宅歯科医療に関する検討委員会への協力している旨、報告があった。

2. 総務報告

佐藤理事より資料を元に説明があり、会員カードの更新時期を迎えるにあたり、有効期限のない新カードの発行を準備している旨、会員サービスの一環として歯科医師賠償責任保険の団体加入の案内を会員へ送付する旨、報告があった。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

水口理事より資料を元に説明があり、高齢期における口腔機能低下症のポジションペーパーの英文化を行っている旨、第 29 回学術大会にて学術委員会シンポジウムと在宅歯科診療等検討委員会との合同シンポジウムの 2 つを準備している旨、日本歯科医学会へ「口腔機能低下症の諸検査（舌圧）」および「臼歯部咬合支持が歩行速度低下に及ぼす影響についての検討」の報告書を提出した旨、「脳卒中患者への医科歯科連携がおよぼす効果に関するガイドライン」を作成中である旨、第 29 回学術大会の課題講演のカテゴリーの決定と発表時間の変更を行った旨の報告があった。

2) 第 28 回学術大会 実施および決算報告

櫻井理事長（大会長）より活動報告について、那須理事より決算報告について、それぞれ資料を元に報告があった。

- 3) 第 29 回学術大会
佐藤理事（大会長）より資料を元に報告があり、ホームページでも詳細が公開されている旨補足があった。
 - 4) 第 30 回学術大会
米山理事（大会長）より資料を元に報告があり、順調に準備が進行している旨報告があった。また、服部理事（準備委員長）より、資料を元に会場案について補足説明があった。
 - 5) 第 31 回学術大会および 30 周年記念祝賀会
水口理事（大会長）、河相理事（祝賀会準備委員長）より資料を元に準備状況について報告があった。
 - 6) 平成 29・30 年度日本歯科医学会 プロジェクト研究
櫻井理事長より資料を元に平成 29・30 年度日本歯科医学会 プロジェクト研究の進捗状況について報告があった。
3. 編集報告
深山理事より資料を元に説明があり、老年歯科医学の J-Stage のインターフェース切替を行った旨、学術著作権協会と再契約を行った旨、本会 30 周年に向けて学会沿革に関する記事の掲載を開始した旨の報告があった。
 4. 財務報告
那須理事より資料を元に、11 月末までの収支報告があった。また、各理事に対して賛助会員の紹介をお願いしたい旨、渡辺名誉会員より 200 万円の寄付があった旨、30 周年記念事業の前払い金を支払予定である旨の補足があった。
 5. 各種委員会報告
 - 1) 教育問題検討委員会報告
福島理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、「老年歯科医学教育の実態調査」および「教育基準（2015 年）の教育状況」の集計結果が学会誌に掲載された旨補足があった。また、伊藤幹事より資料を元に、歯科衛生士養成校における教育状況の調査を行った旨の補足があった。
 - 2) 社会保険委員会報告
菊谷理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、平成 30 年度診療報酬改定に対する口腔機能低下症に係る検査料と管理料等について中央社会保険医療協議会へ意見提出した旨の補足があった。
 - 3) ガイドライン委員会報告
櫻井理事長（担当役員）より資料を元に活動中間報告があり、平野理事より AMED 事業として「認知症高齢者の歯科的対応および歯科治療のあり方」に関するガイドライン・治療指針の作成を行っている旨の補足があった。
 - 4) 在宅歯科診療等検討委員会報告
菅理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、在宅歯科医療に関する検討委員会に本会より菅委員長と菊谷委員が出席した旨の補足があった。
 - 5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会報告
戸原理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、認定制度本施行にあたり研修カリキュラムの一部変更を行った旨、今後の研修内容とスケジュールについて補足があった。
 - 6) 国際渉外委員会報告
小野理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、ECG との交流協定の検討を行った旨、第 29 回学術委員会での委員会企画を検討している旨、2018 年 7 月にロンドンで開催される IADR のサテライトシンポジウムに対し演者を推薦した旨の補足があった。
 - 7) 広報委員会報告
河相理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、ニュースレターの連載企画について、口腔機能低下症の一般向けパンフレットの作成、ホームページの更新について補足があった。

- 8) 研修委員会報告
片倉理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、第2回、第3回高齢者医療臨床研修会の報告および第4回高齢者医療臨床研修会の企画について補足があった。
- 9) 学術用語委員会報告
眞木理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、新出用語の解説を学会誌に掲載している旨、第29回学術大会における学術用語委員会シンポジウムの企画について補足があった。
- 10) 歯科衛生士関連委員会報告
石黒理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、認定歯科衛生士認定審査の結果について、第29回学術大会の企画、歯科衛生士セミナーの企画についての補足があった。
- 11) 認定制度委員会・認定資格検討委員会・研修機関認定委員会報告
松尾理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、専門医の申請者の減少についてとその対応策について補足があり、理事の所属機関において申請可能な者への申請の働きかけをお願いしたい旨の依頼があった。また、専門医に関するアンケート調査の実施について資料を元に提案があり、承認された。
- 12) 認定試験実施委員会報告
高橋幹事より資料を元に活動中間報告があり、認定医試験および専門医試験の実施について補足があった。
- 13) 専門医試験問題作成委員会報告
伊藤幹事より資料を元に活動中間報告があり、2018年1月に専門医試験の問題作成依頼を行うので協力を願いたい旨の補足があった。
- 14) 多職種連携委員会報告
岩佐理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、「要介護高齢者の口腔・栄養管理のガイドライン2017（暫定版）」はパブリックコメントへの対応中である旨、地域包括ケアシステムに関するアンケートを実施する予定である旨の補足があった。
- 15) 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会報告
平野理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、5県で支部長が不在である旨、第29回学術大会でのシンポジウム企画について補足があり、櫻井理事長よりシンポジウムとは別に支部長会も実施して欲しい旨発言があり、佐藤理事より第29回学術大会中に支部長会の開催は可能な旨補足があり、平野理事より別途支部長会を実施することを検討する旨の回答があった。
- 16) 学会間連携委員会報告
服部理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、日本口腔内科学会より口腔乾燥症の分類、治療指針合同作成委員会への参加依頼があり、服部委員長と伊藤加代子代議員を推薦した旨、日本補綴歯科学会との連携事業を検討している旨の補足があった。
- 17) 表彰委員会報告
米山理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、課題口演のカテゴリーを決定した旨、優秀課題口演賞と名称を変更した旨、課題口演の発表時間を変更した旨の補足があった。
- 18) 規程委員会報告
下山副理事長（担当役員）より資料を元に活動中間報告があった。
- 19) 倫理委員会報告
大野幹事より資料を元に活動中間報告があり、学術大会および学会誌における倫理審査の表記方法の検討、会員に対する啓蒙活動について、今後は倫理委員会で対応することとなった旨の補足があった。
- 20) 倫理審査委員会報告
山崎理事（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、倫理審査の結果について、会員向けの研究倫理教育についてホームページに掲載している旨の補足があった。
- 21) 利益相反委員会報告
羽村副理事長（委員長）より資料を元に活動中間報告があり、第29回学術大会におけるCOI表記について決定した旨の補足があった。

6. 平成 29 年度老健事業報告

櫻井理事長（担当役員）より資料を元に説明があり、終末期を含めた中重度の要介護高齢者に対する適切な歯科医療及び口腔衛生管理の充実を図るための、終末期に至るまでの口腔状態の変化等を含め実態調査を行っており、約 1,800 名の調査を平成 30 年 1 月末に終了する予定である旨の報告があった。

7. 選挙管理委員会報告

櫻井理事長より資料を元に説明があり、今後のスケジュールについて報告があった。

8. 日本歯科医学会報告

櫻井理事長より資料を元に説明があり、学術用語集の改定が行われている旨、次回総会は日本歯科医学会会長が会頭で 2021 年 9 月にパシフィコ横浜で開催される旨報告があった。羽村副理事長より、第 24 回学会総会の在り方検討協議会にて各学会から発表を行って欲しい旨、同時期に学術大会を開催して欲しい旨の要請があったとの報告があった。また、菅理事より、在宅歯科医療に関する検討委員会に本会より菅理事と菊谷理事が参加している旨の報告があった。

9. 日本歯科医学会連合報告

櫻井理事長より医療事故調査制度研修会が開催される旨、医療問題関連事業の課題を募集している旨の報告があった。

10. 日本歯学系学会協議会報告

羽村副理事長より、ホームページが修正された旨、シンポジウム「地域包括医療・介護における多職種連携について」のプロシーディングが公表された旨、シンポジウム「口腔健康管理」が開催された旨の報告があった。

11. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

佐藤理事より、歯保連試案が完成した旨の報告があった。

12. 日本老年学会報告

櫻井理事長より資料を元に説明があり、2021 年の日本老年学会総会会長に井口昭久氏が選出された旨、IAGG へ参加した旨、IAGG アジアオセアニア大会が 2019 年 10 月に台北で開催される旨、IAGG が 2021 年にブエノスアイレスで開催される旨の報告があった。

13. 日本口腔内科学会「口腔乾燥症の分類、治療指針合同作成委員会」報告

伊藤幹事（代議員）より資料を元に報告があり、本会を含む 4 学会で口腔乾燥症に関する用語の検討を行っている旨、委員会名が決定した旨、今回は用語検討に限って活動する旨の報告があった。

14. 厚生労働省歯科保健サービスの効果実証事業（後期高齢者）

平野理事より、厚生労働省から本学会への委託事業として、厚生労働省歯科保健サービスの効果実証事業（後期高齢者）を実施されている旨と進捗状況について報告があった。

15. その他

森戸監事より、教員の養成事業を行って欲しい旨、本会の倫理綱領も参考に今後の活動を行って欲しい旨発言があった。

VIII. 閉会の辞

下山理事より活発な議論への御礼と閉会の辞があった。